

多言語体験ワークショップ

大人も子どもも楽しく多言語

～世界に開かれた心を育もう～



私たちは勉強ではなく、赤ちゃんがことばを習得するのと同じプロセスで複数のことばを自然に身につけられる「多言語の環境」を作っています。多世代の人たちと楽しみながら多言語にふれ合い、交流し、世界中の人や文化に自然に親しめます。

どんなことばでも相手の伝えたいことを想像することができるのは人間が生まれもった力。

わからないけどわかっちゃう。伝えられた。そんな「わかる喜び」や「できていく嬉しさ」を家族や仲間と共有し分かち合いながらことばと心を育てませんか。



世界に友だちがほしい

多様性を身につけたい

家族で楽しめることを始めたい

たくさんのお会いや体験をしたい

ヒッポでみんな
実現できちゃう！

英語や他のことばを話せるようになりたい

コミュニケーション力を身につけたい



6月20日(日)・7月3日(土)

10:00~12:00 明日都浜大津 1F

お申込み↓



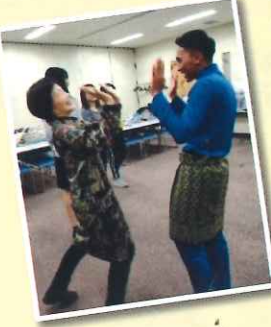
要
申込

参加
無料

会場では新型コロナウイルス感染症対策をして開催します。また状況によりオンラインでの開催となる場合があります。親子連れ、ご家族、学生、社会人、シニアの方など、どなたでもご参加いただけます。どの日もプログラムは同じです。ご都合の良い日を選んでお気軽にお申込みください。



当日のプログラム
 ★世界のことばや音楽で遊ぼう(約 40分)
 ★メンバーの体験談(約 40分 この間、託児も可能です。要申込み)



小さいころの私は人見知りで、母は「たくさんの人の中で育てたい」とこの多言語自然習得活動を始めたそうだ。家にマレーシアの男性を受け入れるとき、対面式で出会ったその人が真っ黒で怖くて「帰りたい」と思った。でも、一緒に遊んで仲良くなって、本当に楽しかった。何で豚が食べられないの？何で女の人は頭に布を被っているの？と子ども心に思ったのを覚えている。

中1の夏休み、一人で1ヶ月間アメリカでのホームステイを体験した。ホストファミリーが言ったことばが「それ聞いたことある」「その音も知ってる」ということばかりで、その場で言われていることがわかっていった。

この活動を通して、外国の人を見かけると「何語かな？」と近づいていくようになったし、国、年齢に関係なく、どんな人にも向き合えるようになり、世界中に友達ができた。

今は「どんなことばも何とかなる！伝わればいいんだから」と思っている。この活動をしていなかったら、こんなに海外に目を向けることはなかっただろう。私には日常だったけど、豊かな環境で育ったと、今は実感している。(20代社会人)



言語交流研究所・ヒッポファミリークラブとは？

これからの時代を伸びやかに生きていくために、ことばの違いを超えて、何語を話す人をも受け入れられる豊かな心とことばを育てて

いきたい。そのような想いから 1981 年にヒッポファミリークラブは誕生し、40 周年を迎えます。

今ではアメリカ、メキシコ、韓国などにも活動が広がり、家族で参加できるオンラインのプログラムも充実してきています。多言語に触れることで世界を体験しながら、多様性を認め、寛容の心も育まれます。



世界初！ 多言語×脳科学
多言語の音に触れながら自然に習得することの重要性が脳科学的に明らかになりました。



右より、
 酒井邦嘉教授(東京大学 言語脳科学)
 スザンヌ・フリン教授(MIT 多言語獲得研究)
 鈴木聖史代表理事(言語交流研究所)

2016年にスタートした米 MIT・東京大学・LEX/Hippo との共同研究で、多言語話者の方が二言語話者より新たな言語を容易に習得できることが、脳科学的に初めて実証され、2021年3月、Nature 誌の姉妹誌にあたるイギリスのオンライン総合学術誌 Scientific Reports に論文が掲載されました。

日本の外国語教育で英語ばかりが取り上げられる中、多言語の音声に触れながら自然に習得することの重要性が脳科学的に裏付けられました。

詳細は URL または QR コードより、
 東京大学プレスリリースをご覧ください。
<https://bit.ly/31DUslid>



英語以外の言語も学ぶ意義
「多様性を楽しむ姿勢
ダイバーシティマインド」
をヒッポの多言語環境で



木村護郎 クリストフ教授
 (上智大学/外国語学部ドイツ語学科)

国内でも国外でも、多様な言語的・文化的背景をもつ人たちと偏見なくつきあっていくことがこれから必須の前提となります。そして相手を知る一つの力ギが言語です。

しかし、こう言うと、必ず、「英語さえできないのに多言語なんてムリ」という反応が返ってきます。しかし、これは的外れです。「多言語を避けているから英語さえできない」のです。むしろ小さい頃から多言語に接していると、多様性に開かれた心が育まれ、異言語を学ぶことにおじけづかなくなります。そして何よりも、言語の多様性に慣れることでさらなる言語が覚えやすくなるのです。

お問い合わせ・お申し込み

一般財団法人 言語交流研究所 ☎ 0120-557-761
 ヒッポファミリークラブ <http://www.lexhippo.gr.jp/>

本 部：東京都渋谷区渋谷2-2-10 青山H&Aビル3F 03-5467-7041
 中 部：名古屋市千種区名駅5-30-1 いちご名駅ビル9F 052-581-6531
 関 西：大阪府中央区南新町1-4-8 アインストーンビル4F 06-4790-7291
 西日本：広島市西区高須2-2-19 082-274-8848
 九 州：福岡市中央区舞鶴1-9-3-305 092-715-3859

